

速報 3月号 NO. 461

編集・発行 一般社団法人広島県臨床検査技師会
事務所 FAX 082-502-6031
発行日 令和7(2025)年2月28日 発行

Hiroshima Association of Medical Technologists

一般社団法人広島県臨床検査技師会



ホームページ <http://www.hiroringi.or.jp/>

【ご案内】令和6年度 第27回 検査部長・技師長連絡会議 令和6年度 第44回 広島県臨床検査精度管理向上研修会.....	2
【報告】令和6年度広島県リーダー育成研修会に参加して.....	3

第74回 日本医学検査学会

2025年 5/10(土)・11(日) グランキューブ大阪 (大阪国際会議場)



+α 〜臨床に貢献できる検査技師とは〜

Tottori in Osaka

**【ご案内】令和6年度第27回検査部長・技師長連絡会議
令和6年度第44回広島県臨床検査精度管理向上研修会**

《申し込みは終了しました》

【テーマ】令和6年度 第27回 検査部長・技師長連絡会議

令和6年度 第44回 広島県臨床検査精度管理向上研修会

【日時】2025年3月16日（日） 13時30分～14時30分

14時30分～18時00分

【会場】広島県医師会館（現地開催とWEB開催（広島県医師会 ZOOM 使用）のハイブリット予定）

【内容】演題名（演者+所属名）

1. 令和6年度 第27回 検査部長・技師長連絡会議

「パニック値の運用について」

発表者

石原 直樹	マツダ(株)マツダ病院
室 暢彰	KKR 吉島病院
岡山 翼	広島赤十字・原爆病院
佐々木 富美江	広島市立広島市民病院

2. 令和6年度 第44回 広島県臨床検査精度管理向上研修会

第52回精度管理調査結果の評価・解説

- | | | |
|-------------|---------|-------------|
| (1) 生化学・免疫 | (松川 裕司 | 広島大学病院) |
| (2) 血液 | (塔村 亜貴 | 広島赤十字・原爆病院) |
| (3) 輸血 | (黒島 眞太郎 | JR 広島病院) |
| (4) 尿定性 | (渡邊 隆徳 | 安佐市民病院) |
| (5) フォトサーベイ | | |
| (一般) | (渡邊 隆徳 | 安佐市民病院) |
| (病理) | (森 智紀 | 広島大学病院) |
| (細胞) | (和田 弘輝 | 福山医療センター) |
| (血液) | (河野 浩善 | 安佐市民病院) |
| (生理) | (中迫 祐平 | 広島赤十字・原爆病院) |
| (微生物) | (池田 光泰 | JA 広島総合病院) |

(6) 遺 伝 子 (湊 田 比 呂 志 広 島 赤 十 字 ・ 原 爆 病 院)

3.特別講演

「広島県におけるがんゲノム医療の現況と課題」

(広島大学病院 ゲノム医療センター・遺伝子診療科 教授 檜井 孝夫)

【生涯教育点数】基礎 20 点

【問い合わせ先】広島大学病院 森本 隆行 (メールアドレス: tm1207@hiroshima-u.co.jp)

【報告】令和6年度広島県リーダー育成研修会に参加して

2025年2月16日に令和6年度広島県リーダー育成研修会が行われました。もともと日臨技が平成26年度より「地域ニューリーダー育成研修会」を開催していて、その内容を各都道府県でも行い、次世代のリーダーを育成するというのが目的の研修会です。「リーダー育成研修会」と聞くと参加するにはかなりハードルが高いなあというのが正直な印象でしたが、実際に参加してみると講師の日本臨床衛生検査技師会の会長であります横地会長を始め、企画して下さいの方々熱意を感じ、参加して良かったと思いました。

午前中は横地会長が「次世代を担う臨床検査技師に期待すること」と題して医療DX(デジタルトランスフォーメーション)から今後臨床検査技師に求められるニーズなどの内容に加えて、横地会長が過去に病院勤務時代にどのようにして業務の効率化や人材育成を行ってきたのか、経験談も交えて講演して頂き、大変有意義であり興味深い内容でした。

また、午後からはステップ表を用いた目標設定から達成までのシナリオ作成をグループに分かれて行いました。4人1組のグループで自己紹介から始まり、目標を設定し様々なディスカッションを行い、グループ一丸となってシナリオの作成を行いました。途中で「天の声」と命名

された他グループの意見も取り入れながら完成させ、グループ毎に発表をし、質疑応答を行いました。自分が正しいと思っていることも、まずは相手の意見を傾聴し、ベクトルの異なる様々な意見を聞いたうえで、最終的には同じベクトルを向くようにコミュニケーションを取ることの大切さを改めて感じました。今回は参加対象者がいる程度絞られていましたが、個人的にはどの世代の方が参加しても何か得ることのできる貴重な経験をさせて頂いた研修会だと思います。ぜひ他の会員の皆様も今度機会がありましたら、「リーダー研修会」という言葉のハードルに恐れず、勇気を出して参加していただけたらと思います。末筆ですが、この度は研修会を企画、運営して下さい、ご関係者各位に深謝致します。ありがとうございました。

(西村 龍太)



広報部連絡・専用 E-Mail < koho@hiroringi.or.jp >
次号速報の原稿〆切は 3月15日です